

日中韓3カ国地方政府交流会議 ～東アジア地域の連携と交流の促進をめざして～

(財)自治体国際化協会交流親善課

1. 日中韓3カ国地方政府交流会議とは

本事業は、歴史的にも、地理的にも極めて密接な関係にある日本、中国、韓国の3カ国の自治体国際交流機関間の協力関係の強化を図るとともに、各国地方政府間の国際交流・協力をより一層促進することを目的に、3カ国による輪番制で平成11年度から実施されています。

第13回会議は、来る8月29日(月)～30日(火)の日程で韓国全羅北道で開催されます。会議は3



カ国約300人の自治体関係者が集い意見発表やパネルディスカッションを行う予定です。

開催実績

第1回(平成11年7月)	韓国・ソウル	参加者約200名
第2回(平成12年9月)	中国・北京	参加者約130名
第3回(平成13年9月)	日本・東京	参加者約200名
第4回(平成14年11月)	韓国・ソウル	参加者約240名
第5回(平成15年11月)	中国・無錫	参加者約260名
第6回(平成16年8月)	日本・新潟	参加者約270名
第7回(平成17年9月)	韓国・江原道	参加者約300名
第8回(平成18年8月)	中国・ハルビン	参加者約270名
第9回(平成19年8月)	日本・奈良	参加者約350名
第10回(平成20年11月)	韓国・全羅南道	参加者約270名
第11回(平成21年8月)	中国・長春	参加者約260名
第12回(平成22年8月)	日本・長崎	参加者約310名

2. 会議の特徴

昨今、自治体間の国際交流では、単なる文化交流のみにとどまらず、経済や環境など具体的実利を前提とした交流希望をするケースが多くなってきています。この会議は次のような特徴を持ち、

自治体のニーズを反映したものとなっています。

- ・ 首長レベルの参加者が多く、トップレベルでの意見交換が可能
- ・ 3カ国から多数の団体が参加するため、幅広い意見交換および交流が可能
- ・ 環境や企業誘致といった自治体PRの場としても有効

第13回会議では、より意見発表を充実させ、自治体間での交流が活発に出来るよう、以下の点に留意しました。

- ① 各自治体からの発表のみならず、パネリストによるディスカッションを実施
 - ② 会場内に通訳が常駐した専用のラウンジを設置し、予約制による個別アポイントの設定や自由に歓談出来るスペースの確保
- なお、会議への参加案内を各自治体に通知しておりますので、御確認ください。

3. 第12回会議の実施報告

◆テーマ

「地域間協力の推進による北東アジア地域の発展」をメインテーマとして掲げ、「地域経済の発展に向けた取り組み」「環境保全と地域間協力の取り組み」「文化を生かした地域振興と文化交流の取り組み」をサブテーマとし、3カ国の代表による講演、実例発表が行われました。

◆開催場所(主体自治体:長崎市)

長崎市内(メイン会場:ホテルニュー長崎)

◆実施期間

平成22年8月30日(月)～31日(火)

*研修視察コース ①9月1日 ②9月1日～2日

◆参加者

合計 103団体 306名

*内訳： 中国（58団体155名）・韓国（10団体38名）・日本（35団体113名）

◆詳細

全体会議

8月31日(火)の午前は、山梨県立大学国際政策学部の吉田均准教授による基調講演が行われました。東アジアの地域間協力は、「双方向の利益を前提とした国際的な共生」の段階にあるとし、相互利益をもたらす協力関係について癌治療の事例など具体的事例を挙げながら発表が行われました。

次に主旨発表として、日本側からは開催自治体の中村法道長崎県知事から、長崎県を例にした中国・韓国との交流の歴史と近年の交流の取り組みについて発表がありました。続いて、中国側からは三門峡市長、韓国側からは釜山広域市副市長からの主旨発表のあと、吉田准教授をコーディネーターとして発表者とのパネルディスカッションを実施しました。

午後は、2セッションに分けてサブテーマに沿った事例発表を各国から行い、会場との質疑応答では長崎市の市電の運用状況や収支状況についてなど活発な意見交換がありました。

研修視察

全体会議終了後は、オプションとして長崎の平和や雲仙普賢岳の災害を踏まえた防災の取り組みに関する研修視察が設定され、中国・韓国から多くの参加がありました。



4. 第13回日中韓3カ国会議開催概要

本年の第13回会議は、韓国全羅北道において8月29日(月)～30日(火)に開催されます。多くの皆様の参加をいただきますようお願いします。

◆テーマ

「地域特色を活用した交流(案)」をメインテーマに、サブテーマには経済関連として「地域間交流を通じた地域経済の発展の取り組み(案)」、環境関連として「グリーンイノベーションを通じた

地域発展の取り組み(案)」に日本、中国、韓国の各国代表による事例発表を行います。

◆開催地

韓国・全羅北道「大明(デミョン)リゾート辺山」

◆日程

平成23年8月29日(月)・30日(火)の2日間
(視察コースは8月31日(水)～2コース設定)

<スケジュール予定>

月 日	時 間	内 容
8月29日(月)	13:00-18:00	参加者登録
	18:30-20:30	開会式及び歓迎会 - 3カ国代表挨拶 等
8月30日(火)	9:20-12:00	講演・発表 - 主旨発表 (韓国・中国・日本) - 質疑応答
	13:30-15:50	事例発表 - サブテーマについて - 質疑応答
	16:10-17:30	特別討論会
	18:00-18:30	閉会式
	18:30-20:30	閉会レセプション (*会期中に「交流の広場」を設置)
8月31日(水)		視察コース(1日コース、2日コースあり)
9月1日(木)		*オプション参加

◆参加費用

国際航空券(日本～ソウル間)・宿泊費・視察費用(オプション)

*空港(ソウル)～会場の往復送迎(時間指定有)、会議に係る費用、開会レセプション、閉会レセプションは主催者負担となります。

◆公式ホームページ

www.tripleharmony2011.or.kr

◆申込案内

開催案内および参加申込書はゴールデンウィーク明けにクレアより、クレア支部を通じて発信しています。

日中韓3カ国地方政府交流会議についてのお問い合わせは、交流親善課までお願いします。

担当：原・長谷

電話：03-5213-1723

Eメール：koushin@clair.or.jp

今回の日本開催は2年後の平成25年(2013年)に予定しております。